

記入年月日:令和 4年 3月 22日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		適切な人数以上を配置している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	完全バリアフリー化までは至っていない 段差はなるべく小さくしており、床は柔らかいものを使用し、配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		衛生面に気をつけながら、環境面を設定できている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的にミーティングを行い、共有できている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様向けのアンケートを活用し、意向を確認。業務改善に務めるようにしている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	これから改善していきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に外部、内部で勉強会や研修を実施している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的に面談を行い、計画作成に活用している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを活用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		利用者に合わせた計画を設定し、かつ具体的な支援内容を心がけている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか			計画に沿って支援を行い、モニタリング等によって定期的に評価を行っている。 支援計画はサービス提供記録用紙にも載せており、毎回確認できるようにしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングを行い、立案している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		飽きが来ないようにと反復練習をさせたいので、日ごとにプログラムを組み替えている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントシートやモニタリングシートを活用し、計画の作成を行っている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		担当表で共有している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りを行い、情報を共有している。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を毎日記録している。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者又は、児童発達支援管理責任者が出席している。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	関係機関と連絡を取り合い、連携した支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	情報共有の提示があれば、個人情報に留意しながら情報の共有を行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	個人情報に留意しながら情報の共有をしていきたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	他事業所との交流があり、研修会に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	今後は交流を持ちたい。運動などを通じて関係性を高めたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	管理者又は、児童発達支援管理責任者が積極的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時やお迎え時に伝えあい、子どもの課題等を共通理解に努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	定期的には面談等を行っている。しかしトレーニングといえるまでは至っていない
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に分かりやすく丁寧な説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	ガイドラインに則った支援計画を提案し、保護者からの同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	ご利用者でなくても、兄弟等の悩みなどに対し助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	開催には至っていないが、必要に応じて開催していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	申し入れ、相談等があった際は迅速に対応できている。また記録もしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	ホームページやSNS等で施設情報を随時発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	職員にも周知徹底を図っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	視覚支援ツール等を用い、配慮しながら支援を行っています。
非常	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	今後に取り組んでいきたい。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	各種マニュアルを作成している。さらなる周知を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年二回の避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	アセスメントシートや契約時に必ず確認している。

時 等 の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	保護者様にヒアリングを行い、サポートブックに記載していただいている。提供する飲料については特に気を付けている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハット報告書を用い、ミーティング等で共有出来ている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	職員は研修に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束がやむを得ない利用者がある場合は事前に保護者様に説明し、同意を得ている。